

鐵道用地起業報告

抑モ鐵道用地ノ至難ナルハ獨当山鐵道用地ノ  
ニナラス一般鐵道布設ニ困難ナル處ナリ殊ニ  
当山鐵道用地ハ土地ヲ惜ミ賣却ヲ好マサル地  
方ニ布設スルノ故ヲ以テ一層困難ヲ来シタル  
亦謂ナキニアラス用地ノ交渉ハ三月廿三日ニ  
始マリ八月尽日ニ至リ線路用地貸借完了セシ  
ト虽モ尔后用水路変更ノ用地道路付替ノ用地  
官有地ニ係ル手續キ煩亦豫想ノ外ニレテ意外  
ノ日子ヲ要シタリ貸借料未ノ如キ最初ノ目的  
ニ及ビ過大ノモノヲ支拂フニ至リタルハ種々  
ノ事情ニ制セラレ蓋シ止ムヲ得サルニ因由セ  
リ故ニ用地ニ関スル諸般ノ事實ハ以下類ヲ分  
ケ之レヲ記載シ終リニ參考トシテ交渉當時ノ  
情況ヲ摘記シ添附セリ

淺野熊澤硫黃山事務所

一用地ノ方針ハ賣買貸借何レヲ問ハス速カニ決  
シ成ハク資ヲ要セサルノ方針ニテ三月廿三日  
始テ各所村長及荒谷挂吉氏其他重立々タル人々  
ニ就キ土地ノ情況ト鐵道布設可否ノ意向ヲ確メ  
テ土地ノ價格ヲ探直シタリ

二鐵道布設可否ノ意向ハ一般希望ニシテ各所村長  
及ヒ土地ノ有力者ハ何レモ諸般ノ便宜ヲ與ヘ  
先セテ尽力ス可キトテ誓フ

三用地ハ賣買貸借ノ二途ニ依リ地主ノ意向ヲ探リタルニ買収ハ望ムテ之ヲ得ル不能一般ニ貸借ノ意向アリ一部分ニ買収ヲ希望スルモノアルモ之レハ用地該當ノ部分ノミニアラスレテ譬ハ一及歩ノ中央ヲ貫通スル西端部ノ残地モ共ニ買収ナレタリト其價格ハ平常行ハル、賣買價格ノ數倍ヲ唱フルナリ土地ヲ惜ミ賣買ヲ欲セス貸借ヲ望ム地主多ク現ニ其當時有志者、貸借ナレバ普通小作ニ二三割ヲ増加セハ皆之ニ應ス可シト明言セリ故ニ貸借ト方針ヲ固メタリ然レモ其當時ハ積雪未タ氷解セズ測量ノ標木モ不分明ニシテ各所有者ヲ知ルヲ得ズ隨テ交渉ス可キ様ナカリシ

四四月中旬解雪ト共ニ所有者ヲ取調ハ交渉ニ着手セントセシモ鐵道部ハ再測量中ニテ處々ニ線路変更ノヶ所モアリ斯クテ中真標木ハ定マレリ然レモ中真杭ノミニシテ中真杭ヲ定メテハ各所有者判然知ル不能故ニ中真杭ヲ標準トシテ實地ニ就キ地主ノ概查ニ着手シタリ此當時ハ未タ地主ト交渉ヲ經ル際ナレハ種々ノ苦情ヲ申出ツルモノモアリ甚ク

手数を要シタリ

五地主モ概略調査ヲ遂ケ順々其進ムニ隨ヒ實際地主ニ當テ交渉ヲナシタルニ各町村長及有志者ノ嚮キニ言フ処トハ其趣キヲ異ニシ収獲米ノ三倍ト言ヒ四倍ト唱ヒ要求ノ料米ニ應セサレバ土地ハ之ヲ貸附セズトマテ絶叫スルニ至レリ普通小作料ニ二三割ヲ増加セバトノ各町村長及有志者ノ明言シタル事ハ僅カ一ヶ月モ經ナル今日変化モ亦甚ニ町村長ハ各町村長ノ代表者ナリ否主宰者ナリ各町村ノ有志者トハ其町村ニ於テ人望充々タル

新撰讀本蘇山書錄

ル地方屈指ノ人物ナリ之等ノ人々カ明言シ夕稍違テ實ニ思慮ニ過キルモノアリ四月廿四日ヨリ五月七月ニ渉リ各地主ニ向ヒ交渉ヲナスニ益々暴求ハ歩一歩ヲ進メタリ事ハ茲ニ及ニテハ勢力ヒ各町村長及有志者ヲ責メテ得ズ明言シタル言質ヲ捉ヒ責ムルモ目下ノ形勢力只及ハサルトノ語ヲ以テ答ヒアルノミ四五ノ者ヲ除クノ外何レモ如斯無責任モ亦甚シ情々思フニ一部ノ輩カ已レ何カ為ニスル処アリ甘言ヲ以テ欺キシカノ感生シタリ

六料米ハ普通小作料ノ二三割ト信シタルハ  
空想ニ過キ斯クテ時日ヲ遷シバ時機尙ホ失  
フノ恐トアリ各所村長ニ迫リ用地交渉委員  
ノ撰定ヲ要求シ前田所三名東館村十二名大  
葛村十五名ノ委員ヲ設ケラレタリ此委員ヲ  
會シ屢々相談ヲ凝シタリ大ニ交渉ハ進行シ  
タルモ貸借米ハ現在土地ノ収獲米カ相当ナ  
リトノ事ハ勤クヌ可カラザル輿論トナレリ  
因テ實地土地ヲ調査シ収獲ニ依リ貸借料米  
ヲ支拂フノ方針ニテ交渉ヲ進行シタリ  
七料米ヲ土地ノ収獲又高或ハ収獲ニ超過スル格

臺灣通商勸業局  
臺灣通商勸業局  
臺灣通商勸業局

ヲ支拂フハ不相当ナリトノ説モアランナレ  
共事實正ムヲ得ナルモノアリ如何トナレハ  
線路ハ田畑ノ中央ヲ貫通シ盛土或ハ切り取  
リヲナシ之レガ為メ其殘地ニ及ボス害亦不敷  
モノアリ既ニ地主ハ殘地ニ貸借セシメタリ  
ト強ルモ往々アリシ之レ等ガ起因ニテ小作  
米ヲ標準トスルヲ得ナルニ至リ實地収獲ヲ  
標準トスルニ定メタリ

八土地ノ表稱ハ山林原野ニシテ其實際ニ於テ  
ハ専ラ桑ノ植付アリシ之レ等カ収獲ニ拠ルモ  
ハ上田ヨリ遙カ優ル處ノ料米ヲ支拂ハサル

ヲ得ナルノミナラズ樹木ヲ現形ニ復スト言  
フ事ハ實際ニ於テ行ハレサルモノアリ地主  
ハ復旧シ能ハザル樹木ヲ伐採シ去ルガ故ニ  
損害トシテ一ケ年ノ生産高ヲ積算シ契約期  
間ノ全部ヲ一時ニ支拂ハレタシト云々樹木  
ハ之等ニ止マテ又一般損害格評定ニ甚ミク  
ルニアリ之等モ一般料末ノ格付ニ影響有及  
ボシタル一因ナリ

九 斯クテ六月中ニ至リ中杭ハ確定シタリ用地  
ノ丈量ニ着手シ各地主別ニ調査ヲ了リ八月  
上旬ヨリ契約ノ締結ヲナシタリ

對溇湖戰蘇黃山書發

十 工事進行ニ隨キ用水路及道路并替用地交渉  
ヲ續ケタリ之レ等ハ直接關係アルカ為非常  
ノ苦情ヲ唱ヘルモノアリシモ契約条項中其  
附近ノ土地ヲ使用スルヲ得ルトノ設ケア  
ルニ依リ本契約土地ノ料末ニ准シ結了セリ  
十一 契約締結ニ至ルマテ交渉ニ至難ノ一ナリシ  
ハ復旧問題ナリ地主ノ多クハ契約當時ニ於  
テ復旧費ヲ各自領収セント主張シタリ使用  
期間充テ土地ヲ返還スルトキハ復旧シテ返  
還ス可シト言フモ不安ナリトテ應セズ利害  
ノ異ナル各自ノ意見モ一定セズ結局復旧費

ハ工事落成后トナシタリ

全線路用地借入種目及所屬

一 民有田畑山林原野

二 民有郡村宅地ノ其部分

三 官有山林大林區署扱

四 官有荒蕪地縣廳扱

五 官有溜池地縣廳扱

線路用地買収ノ所

一大島村ニ田原野ニテ三ヶ所東館村ニ畑ニヶ所

アリ

線路用地無償地

對溼瀧野蘇黃山重發

一 東館村共有山林壹及四畝拾五步畑四畝拾四

歩山林ハ岩石ニシテ収獲ナキ不用地畑ハ花

辟病室建設地ニシテ移轉料ニ貸借料ヲ含

一時ニ支拂ヒタルニ依リ契約無料

鉄道ニ用スル用地ノ未了

一大谷停車場森林合停車場用地

是ハ用地確定セサル内降雪ニ依リ大量スル

ヲ得ズ未了ナレ共所有者ノ承諾ヲ經テ其部

ニ工事ニ着手セリ

二 電柱及支柱

是ハ建設中ニシテ建設架設ノ分ハ結了セリ

三 用水路道路附替用地ノ一部

是ハ工事ノ進行ニ依リ新ニ生ヌタルヶ所

四 契約土地ノ登記申請

是ハ月下署々申請中

五 用地復旧費問題

六 禁伐林

是ハ願書提出中

(イ) 全線路総延長

一 拾壹哩貳拾貳鎖

大谷停車場ヨリ  
前田停車場ニ至ル

四 鐵道敷地民有地借入総及別

及別拾壹町二反二畝十一歩

鐵道敷地民有地借入

四

種目及

別料

末

一及歩  
平均額

宅地

七〇一

二一二〇

三〇二四

田

五二〇一三

一六七九六八

三二九〇

畑

二七一二五

六二二五九

二二九〇

原野

三三五二五

一五一〇四

六六八

山林

一九七〇〇

一〇六二七

五三九

合計

一三二二〇四

二五六〇七八

五三七二五

(八) 鐵道用地町村區別

町村名 哩區別

種目及別料末

一及歩  
平均額

大島村

自〇哩至五哩  
畑山林原野宅地

六〇六六 一三〇〇六一

二四四

東館村

自五哩十五領田畑山林  
至九哩七土領 原野地

八五〇六 八四七六 二一〇七

扇田町

自九哩七土領 田畑山林  
至土哩五土領 原野

三〇三 四六四一 二四四

合計

一一三二〇四 二五八〇七八

(二) 鐵道用地買収及別

一及別九畝貳拾六步

内譯

種

日及別買入代金一及歩價

摘要

田

八〇一 三〇〇〇〇 八ノ及別三合平下スヘキモノナリ

畑

一三 三〇三四 七〇〇〇〇 五哩十五領ヨリ九哩七土領ニテノ及別ニ合平下スヘキモノナリ

山林

一二 該土地ハ外山林ニテト共買収ニシテモニシテ買入代金ハ三米ノ分ニテ鐵道部ニ振り替ハク土地ハ無代價トナレリ

合計

九二六 二四四〇三四 〇哩ヨリ五哩十五領ニテノ及別ニ合平下スヘキモノナリ

淺野熊澤硫黃山事務所

(本) 鐵道用地官有地借入及別

一及別四反五畝貳拾九步

内譯

種

日及別借地料金一及歩平均

摘要

官有荒地

五二 八〇〇 大葛村元神明社ニテ移轉許可官有荒地ニ縮入縣廳ヨリ借入

官有山林

二八〇四 五六二七 二〇〇〇 東館村地内ニアル官有山林大井巴ヨリ借入

溜池

一三四 一四九六 一一〇〇 東館村地内ニアリ全村役場ノ系認之經縣廳ヨリ借入

合計

四五元 七五五二

鐵索用地民有地借入及別

一及別壹町五反三畝二十一歩

大石停車場ヨリ 官有地界ニ至ル

内譯

地目 及別料金 及歩平均額

摘要

山林 七八六及 三六六四 三〇〇四  
架設地盤平均三間中、借入付設ノ  
 全所八間是地人通ノケル也合々

原野 七四五 三四五〇 三〇〇四 全折

合計 一五三三二 六一一〇

(中)鐵道用地民有無償地及別

一及別表及八畝貳拾七步

改譯

地目 及別料金 一及歩平均額 摘要

知 四二〇 〇 〇 〇  
五哩拾五箇手、九哩七五箇手、及別  
 合共亦ス、キモノナリ

山林 一四五〇 〇 〇 〇 全上

淺野熊澤硫黃山事務所

合計 一八二七 〇 〇 〇 〇